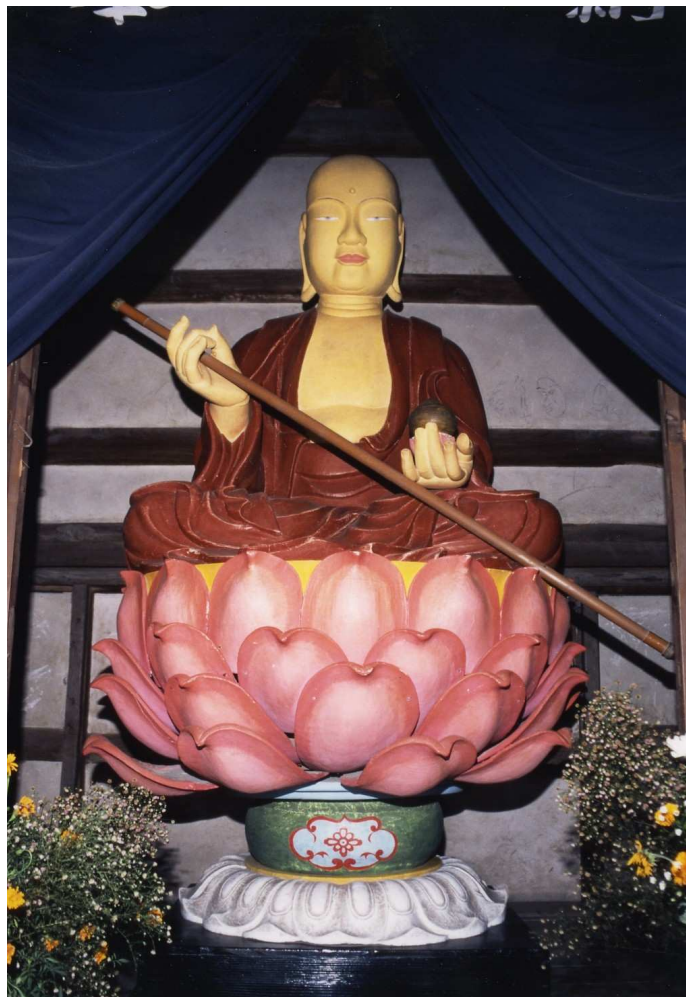


市指定文化財<彫刻>

もくぞうじぞうぼさつざぞう 木造地蔵菩薩坐像

指定日 平成2年9月1日

所在地 菊池市隈府 正観寺



正観寺のある一段高い所は庫裏であるが、その南の下にある平地に、近世末に改築された地蔵堂があり、室町後期作の木造地蔵菩薩坐像一躯が安置されている。

人間は死ぬと地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六道のうちいずれかに行くといわれており、六道を輪廻する衆生を救う仏が、地蔵菩薩だとされる。天空を象徴する虚空蔵菩薩に対して大地の恵みを神格化したのが地蔵菩薩である。像の姿は頭を丸め、身には衲衣、袈裟をまとう僧形で、左手に宝珠を持ち、右手に錫杖を持つ立像が多い。

本像は樟の寄木造りで彩色されており、像高は159cmに達し、台座の上に置かれた蓮華座にどっかりと胡坐をかいており、坐像としては県下最大級の部類に属する巨像である。